



IT Holdings

2010年3月期 決算説明会資料

平成22年5月12日

ITホールディングス株式会社

Copyright © 2010 IT Holdings Corporation

ITホールディングスグループ

ITホールディングスグループのフォーメーション

2010年3月期 決算概要について

2011年3月期 業績見通しについて

中期的成長に向けた重点施策の進捗状況について

参考資料

ITホールディングスグループのフォーメーション

2010年3月期 決算概要について

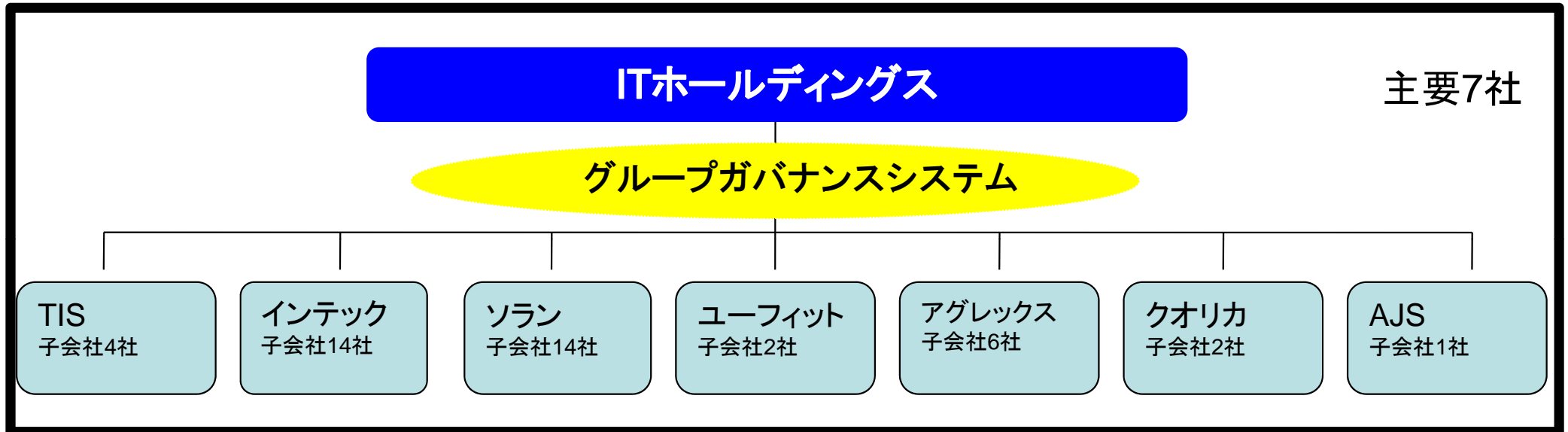
2011年3月期 業績見通しについて

中期的成長に向けた重点施策の進捗状況について

参考資料

業界の2位グループを形成

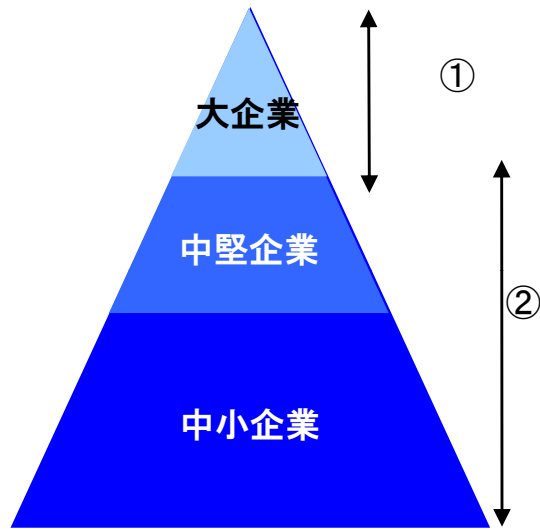
連結対象55社(2010年3月末現在)



年度	2008	2009	2010(計画)
グループ企業の整備、再編 (主なものを記載)	7月 ネクスウェイを子会社化(インテック) 10月 旧TISグループの会社分割 (主要会社をITHD直下に)	7月 ネオアクシス設立 (エス・イー・ラボ、TISソリューションビジネス合併) 10月 インテックがインテックHDを合併 12月 ソランがITHDグループに参画	4月 IUK,中央システムをITHD直下に インテックシステム研究所とインテック ネットコアが合併 5月 CRO*事業再編(アグレックス)

*CRO (Contract Research Organization) : 医薬品開発業務受託機関

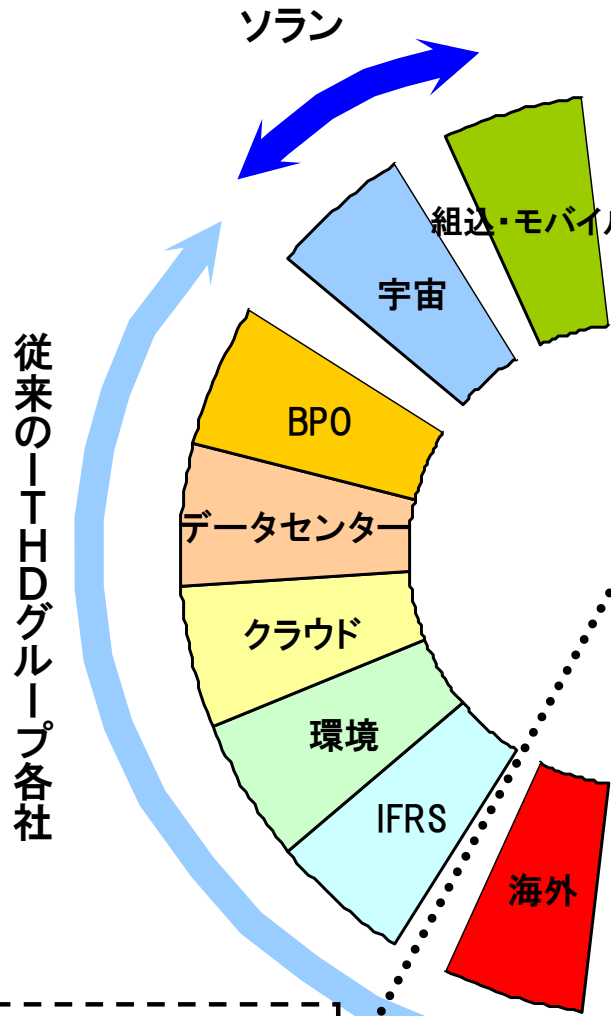
<企業規模別>



① 主要7社他

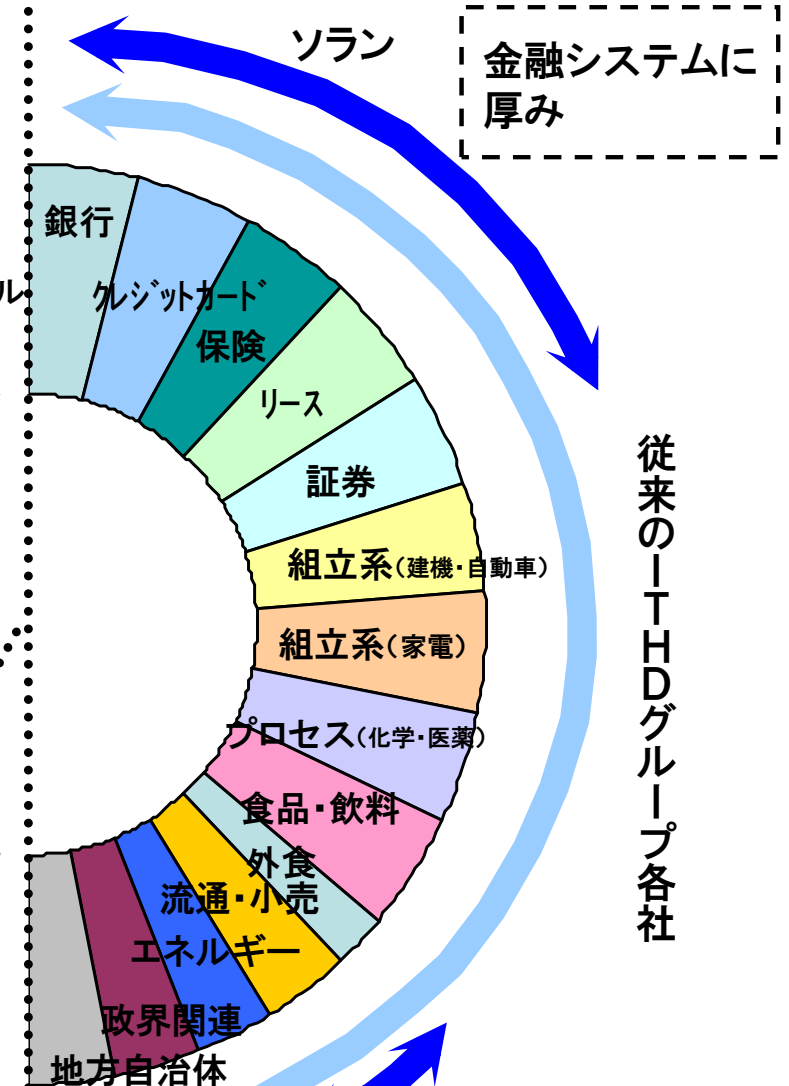
② IUK、ネクスイイ、ネオアクセス他

<技術別>



中国事業の強化

<業界別>



【イメージ図】

ITホールディングスグループのフォーメーション

2010年3月期 決算概要について

2011年3月期 業績見通しについて

中期的成長に向けた重点施策の進捗状況について

参考資料

2010年3月期 業績サマリー <ITHD連結>

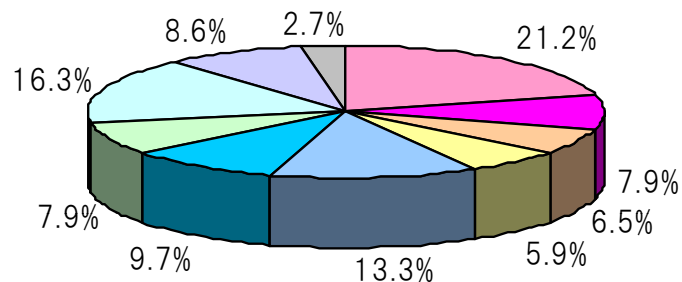
ITHD連結 (百万円)	2009年3月期		2010年3月期		前期比		計画		計画比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	金額	構成比	差異額	差異率
売上高	338,302	100.0%	313,856	100.0%	▲24,446	▲7.2%	310,000	100.0%	3,856	1.2%
アウトソーシング・ネットワーク	125,721	37.2%	126,164	40.2%	443	0.4%	125,700	40.5%	464	0.4%
ソフトウェア開発	175,847	52.0%	155,976	49.7%	▲19,871	▲11.3%	152,200	49.1%	3,776	2.5%
ソリューション	29,409	8.7%	25,021	8.0%	▲4,388	▲14.9%	24,600	7.9%	421	1.7%
その他	7,325	2.2%	6,693	2.1%	▲632	▲8.6%	7,500	2.4%	▲807	▲10.8%
営業利益	23,787	7.0%	15,996	5.1%	▲7,791	▲32.8%	14,500	4.7%	1,496	10.3%
経常利益	23,604	7.0%	15,719	5.0%	▲7,885	▲33.4%	14,000	4.5%	1,719	12.3%
当期純利益	9,406	2.8%	7,659	2.4%	▲1,747	▲18.6%	6,500	2.1%	1,159	17.8%

※上記計画は2010/2/9に発表した数値です。

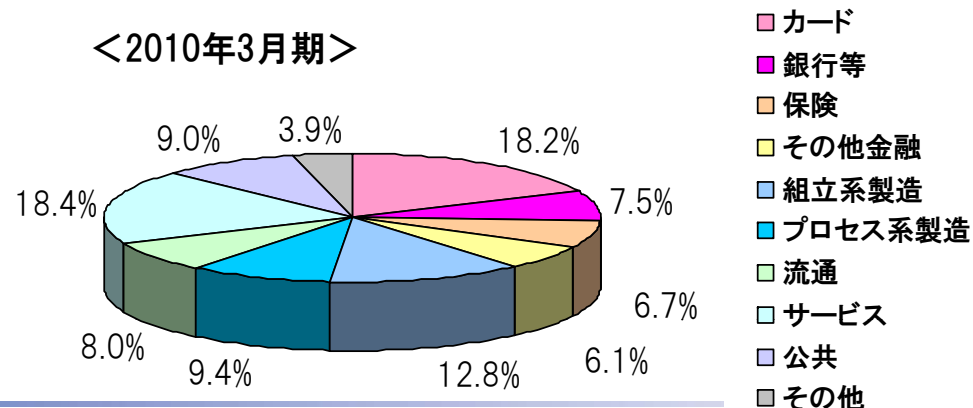
- ▶ 外部環境
 - ・下期にかけて輸出や生産の持ち直しなどによる景気の回復が感じられたが、自律性は弱く、企業収益の本格的な回復には至らず。
 - ・景気低迷・企業収益の厳しさを背景とする顧客のIT投資に対する慎重な姿勢や抑制の動きが継続。
- ▶ 売上高
 - ・IT投資抑制の影響のほか、前期中に大型案件が終了したことから、ソフトウェア開発分野・ソリューション分野を中心に前期比減少。
- ▶ 営業利益
 - ・内製化の推進や経費削減に注したが、減収の影響により、前期比減少。
 - ・但し、コスト削減をさらに進めた結果、修正計画(2010年2月9日発表)を上回って着地。
- ▶ トピックス
 - ・ソランを平成21年12月に子会社化。同社業績が第4四半期から反映。

業種別売上高(構成比)

<2009年3月期>



<2010年3月期>



2010年3月期 業績サマリー <TIS連結、インテック>



TIS連結 (百万円)	金融・製造・サービスなどに幅広く展開。基幹系システムの開発からデータセンターサービスまでワンストップで提供。									
	2009年3月期		2010年3月期		前期比		計画		計画比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	金額	構成比	差異額	差異率
売上高	113,685	100.0%	90,983	100.0%	▲22,702	▲20.0%	88,610	100.0%	2,373	2.7%
アウトソーシング・ネットワーク	35,699	31.4%	34,093	37.5%	▲1,606	▲4.5%	33,410	37.7%	683	2.0%
ソフトウェア開発	66,221	58.2%	47,027	51.7%	▲19,194	▲29.0%	45,400	51.2%	1,627	3.6%
ソリューション	11,765	10.3%	9,861	10.8%	▲1,904	▲16.2%	9,800	11.1%	61	0.6%
営業利益	7,477	6.6%	5,028	5.5%	▲2,449	▲32.8%	4,500	5.1%	528	11.7%
経常利益	7,911	7.0%	5,376	5.9%	▲2,535	▲32.0%	4,800	5.4%	576	12.0%
当期純利益	2,507	2.2%	3,300	3.6%	793	31.6%	2,500	2.8%	800	32.0%

※上記計画は2010/2/9に発表した数値です。

インテック単体 (百万円)	金融・製造・流通・医療・公共など多様な業種に強み。									
	2009年3月期		2010年3月期		前期比		計画		計画比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	金額	構成比	差異額	差異率
売上高	96,618	100.0%	93,152	100.0%	▲3,466	▲3.6%	91,170	100.0%	1,982	2.2%
アウトソーシング・ネットワーク	30,785	31.9%	30,315	32.5%	▲470	▲1.5%	29,220	32.1%	1,095	3.7%
ソフトウェア開発	57,288	59.3%	53,857	57.8%	▲3,431	▲6.0%	52,990	58.1%	867	1.6%
ソリューション	8,545	8.8%	8,979	9.6%	434	5.1%	8,960	9.8%	19	0.2%
営業利益	6,158	6.4%	5,687	6.1%	▲471	▲7.6%	4,870	5.3%	817	16.8%
経常利益	5,591	5.8%	4,929	5.3%	▲662	▲11.8%	4,300	4.7%	629	14.6%
当期純利益	3,126	3.2%	1,747	1.9%	▲1,379	▲44.1%	1,430	1.6%	317	22.2%

※上記計画は2010/2/9に発表した数値です。

2010年3月期 業績サマリー <ソラン連結>



ソラン連結 (百万円)	金融、製造を中心に通信、公共とバランスよく展開。宇宙システム開発も。									
	2009年3月期		2010年3月期		前期比		計画		計画比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	金額	構成比	差異額	差異率
売上高	61,402	100.0%	46,985	100.0%	▲14,417	▲23.5%	46,300	100.0%	685	1.5%
アウトソーシング・ネットワーク	12,268	20.0%	10,209	21.7%	▲2,059	▲16.8%	10,210	22.1%	▲1	▲0.0%
ソフトウェア開発	45,830	74.6%	33,765	71.9%	▲12,065	▲26.3%	33,280	71.9%	485	1.5%
ソリューション	2,814	4.6%	2,590	5.5%	▲224	▲8.0%	2,410	5.2%	180	7.5%
その他	490	0.8%	421	0.9%	▲69	▲14.1%	400	0.9%	21	5.3%
営業利益	3,252	5.3%	1,543	3.3%	▲1,709	▲52.6%	1,300	2.8%	243	18.7%
経常利益	3,176	5.2%	1,378	2.9%	▲1,798	▲56.6%	1,070	2.3%	308	28.8%
当期純利益	1,885	3.1%	603	1.3%	▲1,282	▲68.0%	500	1.1%	103	20.6%

ソランの子会社化について

- ①収益基盤の拡大
- ②技術・ノウハウの拡充
- ③生産性の向上
- ④コストダウン

中期経営計画
「IT Evolution 2011」の実現を加速

2009年12月に子会社化(議決権所有割合91.5%)。2010年4月に完全子会社化。

■2010年3月期のITHD連結業績に反映されたソラン業績

ソラン連結 (百万円)	2010年3月期4Q		計画		計画比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	差異率
売上高	14,034	100.0%	13,350	100.0%	684	5.1%
アウトソーシング・ネットワーク	3,093	22.0%	3,095	23.2%	▲2	▲0.1%
ソフトウェア開発	9,941	70.8%	9,458	70.8%	483	5.1%
ソリューション	917	6.5%	738	5.5%	179	24.3%
その他	81	0.6%	61	0.5%	20	32.8%
営業利益	1,457	10.4%	1,214	9.1%	243	20.0%
経常利益	1,445	10.3%	1,135	8.5%	310	27.3%
当期純利益	822	5.9%	729	5.5%	93	12.8%

のれん償却額 ▲220 ▲220 — —

※上記計画は2010/2/9に発表した数値です。

2010年3月期 業績サマリー <ユーフィット、アグレックス、クオリカ、AJS>



ユーフィット連結 (百万円)	出資比率70.4%。クレジットカード、信販などに強み。運用中心。					
	2009年3月期	2010年3月期	前期比	計画	計画比	
売上高	45,244	42,706	▲ 2,538	42,140	566	売上高は、銀行顧客のシステム統合完了に伴う保守・運用業務が減少。主要カード顧客のシステム統合案件等でカバーできず、前期比減少。 営業利益は、値引き要請や工数増加に伴う負担増の影響のほか先行投資等による経費増により前期比大幅減。また、コスト負担増により着地も計画を若干下回った。 ※当期純利益：特別利益の計上減少幅を軽減。
営業利益	4,966	1,904	▲ 3,062	1,980	▲ 76	
経常利益	5,054	1,977	▲ 3,077	2,040	▲ 63	
当期純利益	2,725	2,027	▲ 698	2,050	▲ 23	

アグレックス連結 (百万円)	出資比率50.6%。日本のBPOビジネスのリーディングカンパニー。東証第1部(4799)					
	2009年3月期	2010年3月期	前期比	計画	計画比	
売上高	26,748	26,590	▲ 157	26,590	—	売上高は、金融機関向けのシステム開発などのSI事業が低調だったものの、BPO事業が保険会社向けを中心に好調。前期下期から子会社となったクロノバ株式会社の寄与もあり、前期並みを確保。 営業利益は、経営効率の向上に努めたものの、SI事業の粗利率低下や販管費の増加により前期比減少。
営業利益	1,041	656	▲ 384	650	6	
経常利益	1,023	645	▲ 378	640	5	
当期純利益	344	91	▲ 253	90	1	

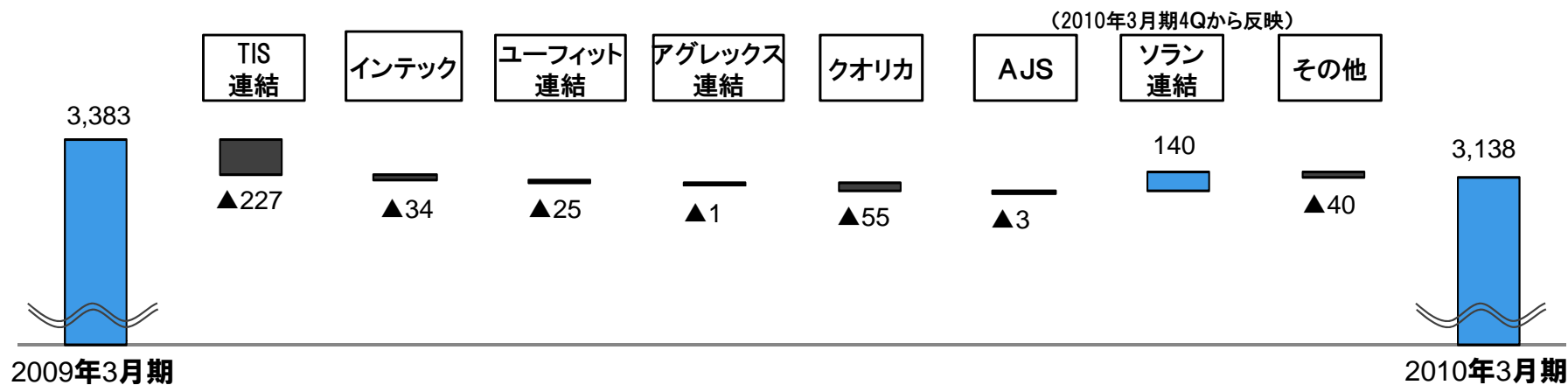
クオリカ単体 (百万円)	出資比率80%(コマツ20%)。製造業、流通・サービス業に強み。					
	2009年3月期	2010年3月期	前期比	計画	計画比	
売上高	19,363	13,852	▲ 5,511	13,910	▲ 58	売上高は、主要顧客である大手建機のIT投資削減の影響が大きく、前期比大幅減少。 営業利益は、売上高の減少および強い値引き要請等に伴い前期比大幅減少となったものの、固定費削減に努めた結果、計画を上回って着地。
営業利益	1,728	349	▲ 1,379	240	109	
経常利益	1,745	362	▲ 1,383	250	112	
当期純利益	971	83	▲ 888	100	▲ 17	

AJS単体 (百万円)	出資比率51%(旭化成49%)。製造業・医療関連分野に強み。					
	2009年3月期	2010年3月期	前期比	計画	計画比	
売上高	10,565	10,237	▲ 328	10,350	▲ 113	売上高は、主要顧客向けが安定的に推移したものの、一般産業向けが厳しく、前期比小幅減少。 営業利益は、売上高の減少等に伴い前期比減少となったものの、業務効率改善などの原価削減に努めた結果、計画を上回って着地。
営業利益	714	582	▲ 132	500	82	
経常利益	705	565	▲ 140	480	85	
当期純利益	619	347	▲ 272	280	67	

※ユーフィット、クオリカ、AJSの計画は2010/2/9に発表した数値です。また、アグレックスの計画は2010/4/23に発表した数値です。

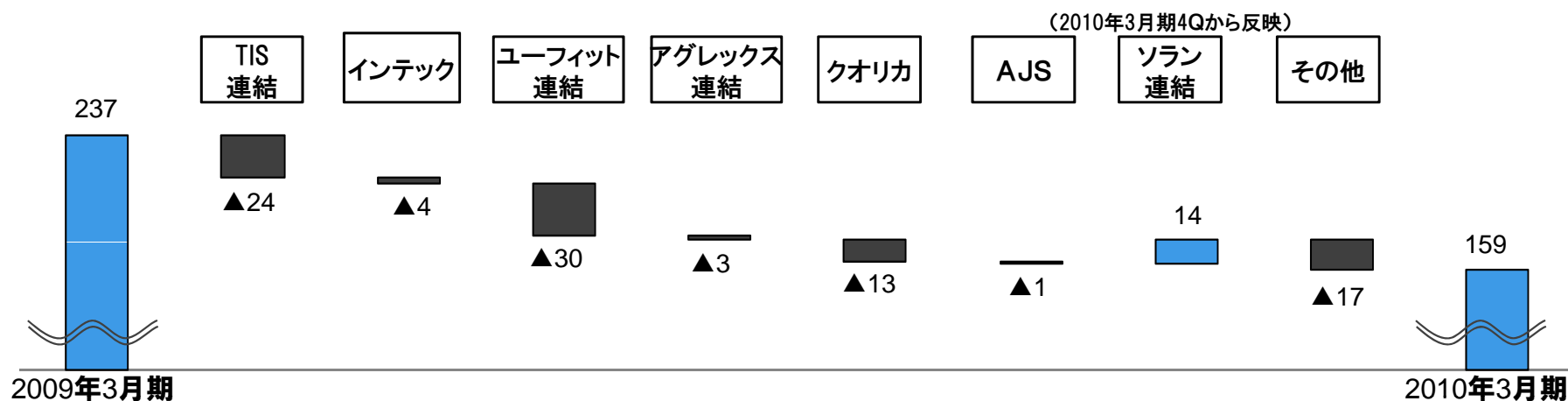
<売上高>

単位: 億円

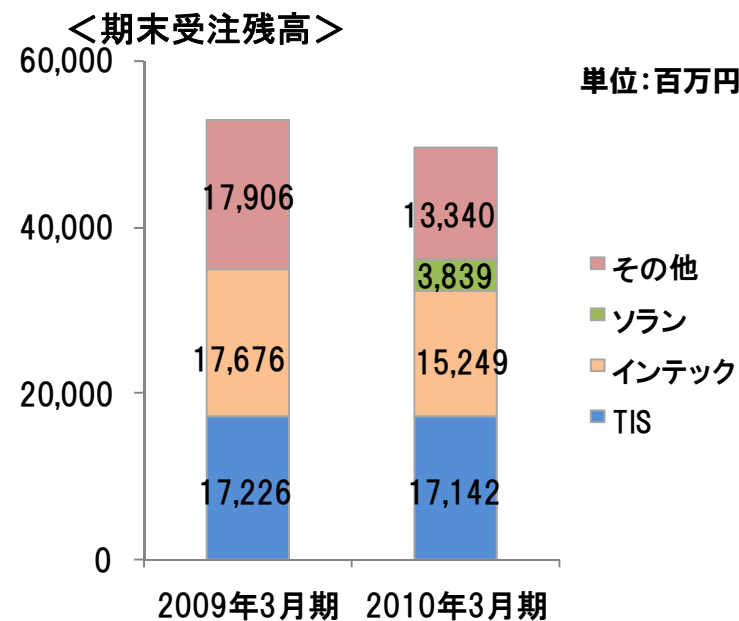
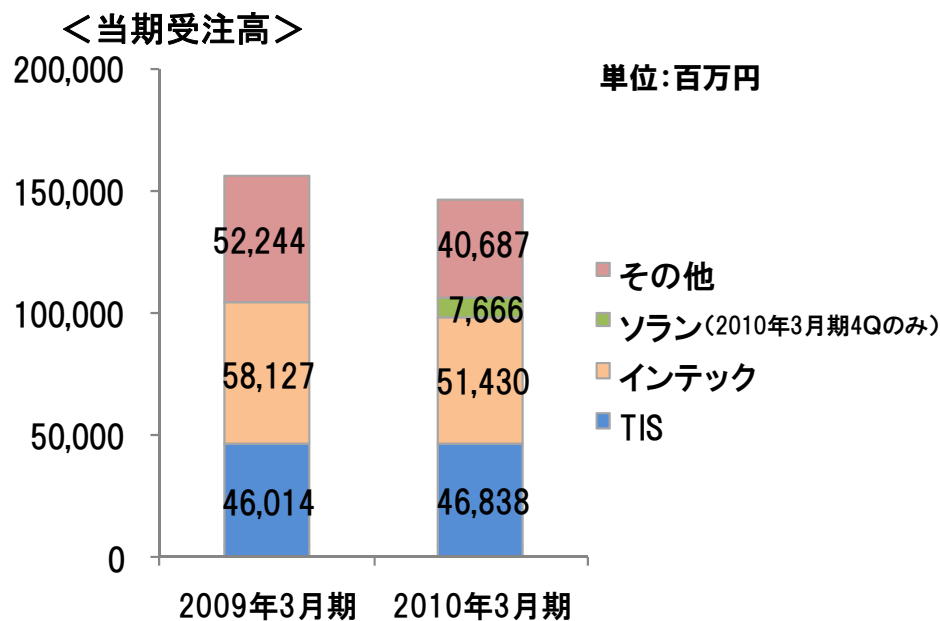
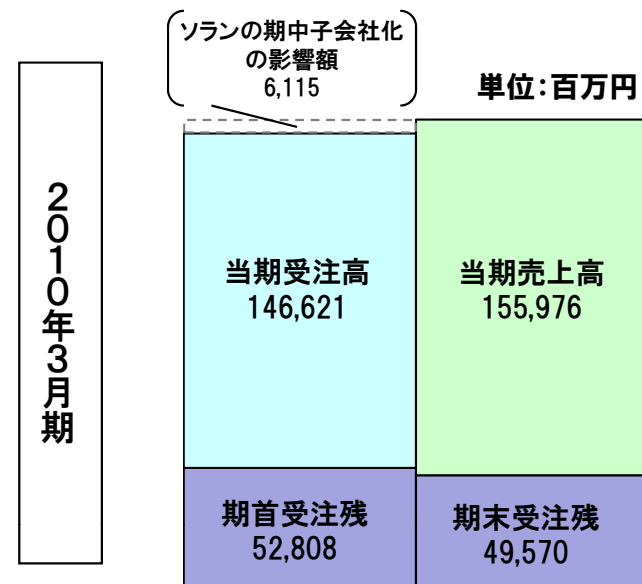
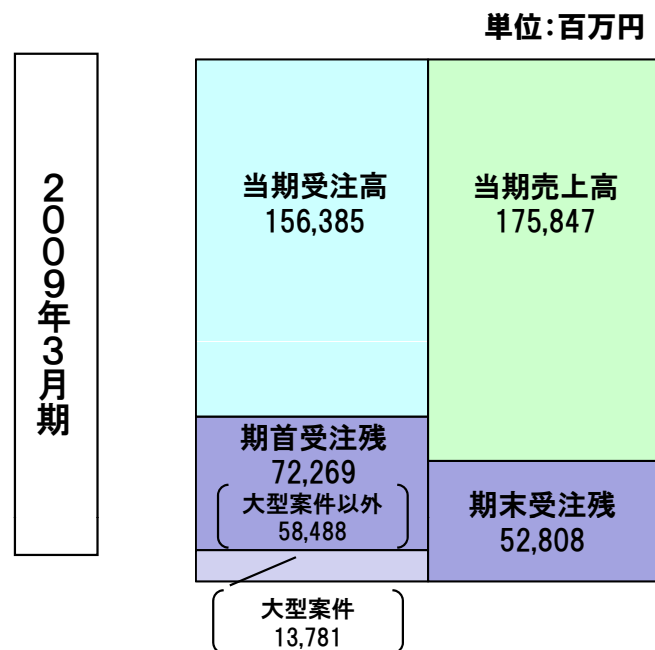


<営業利益>

単位: 億円



2010年3月期 受注状況【ソフトウェア開発】



ITホールディングスグループのフォーメーション

2010年3月期 決算概要について

2011年3月期 業績見通しについて

中期的成長に向けた重点施策の進捗状況について

参考資料

日本企業の情報投資の近況

金融業

- ・開発分野では、2010年以降も案件の峻別とプロジェクト・コストの削減が継続し、急激な支出回復は見込まれにくい。
- ・アウトソーシング分野では共同センター型システムの利用増と、次世代型データセンターの利用が期待できる。

製造業

- ・2010年も引き続きIT予算が低位水準で推移、2011年からはグローバル対応向けの需要が高まる見込み。

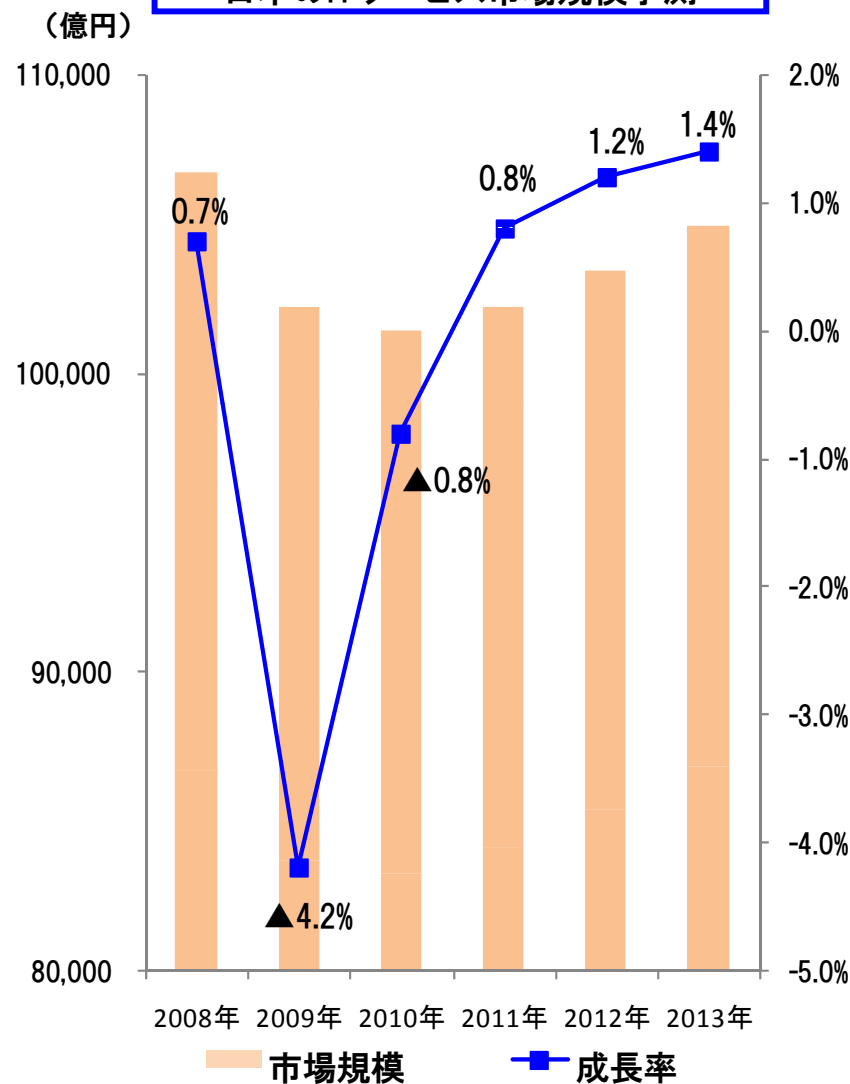
サービス業

- ・BtoCビジネスの基盤としてITシステムの存在が不可欠であるため、消費環境を睨んだ需要は継続するとみられる。

ITHDの環境認識

- ・日銀短観におけるソフトウェア投資額の当年度計画は、IT投資に対して慎重な姿勢や抑制の動きが継続している。
- ・今後も当面は厳しい状況が見込まれるが、下期以降を中心に景気回復に伴うIT投資再開の動きも期待できる。

日本のITサービス市場規模予測



※ガートナー「2010年3月版セグメント別日本のITサービス市場規模予測」より当社作成

主要取引先の状況(2010年3月期における売上高上位10社)

顧客名	業種	ITHDグループの対応状況
A社	クレジットカード	前期の基幹システムの更新案件の終了後、運用業務をベースに、新システムへの保守や法改正に伴う開発案件に対応。
B社	クレジットカード・信販	運用業務をベースに、システム統合や法改正に伴う開発案件に対応。コスト削減要請も強い。
C社	銀行	前期の大規模なシステム統合案件の終了後、周辺システムの更新案件などへの対応が徐々に始まる。
D社	クレジットカード・信販	基幹システムの更新案件が始まったが、計画変更により小規模でスタート。本格的な立ち上がりまでには時間を要する見込み。
E社	化学	事業多角化が底支えとなり、IT投資は重点分野を中心に継続。IT投資抑制やコスト削減要求の動きがあるが、次期基幹システムの検討も開始されている。
F社	建機	新規開発案件の凍結や固定費削減など、大幅なIT投資抑制の影響を受けた。新規領域の組込みソフト分野が立ち上がるなど、新しい動きもみられるようになった。
G社	生命保険	大規模開発案件は始まっているものの、金融危機の影響などにより、開発ピークを抑える方針への転換がなされたため、横ばいで推移。
H社	ハードウェアベンダー	アウトソーシング分野で業務提携関係にあり、協業を推進。安定的に推移。
I社	リース	リース業界は全体的に厳しく、開発業務が減少したが、運用業務は安定的に推移。
J社	サービス(カード系)	機器更新需要への対応により、一時的に取引拡大。

ITHD連結 (百万円)	2010年3月期				2011年3月期(計画)				前期比			
	上期		通期		上期		通期		上期		通期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	146,954	100.0%	313,856	100.0%	165,000	100.0%	346,000	100.0%	18,046	12.3%	32,144	10.2%
アウトソーシング・ネットワーク	61,623	41.9%	126,164	40.2%	64,500	39.1%	131,000	37.9%	2,877	4.7%	4,836	3.8%
ソフトウェア開発	70,308	47.8%	155,976	49.7%	84,500	51.2%	179,500	51.9%	14,192	20.2%	23,524	15.1%
ソリューション	11,798	8.0%	25,021	8.0%	13,000	7.9%	29,000	8.4%	1,202	10.2%	3,979	15.9%
その他	3,224	2.2%	6,693	2.1%	3,000	1.8%	6,500	1.9%	▲224	▲6.9%	▲193	▲2.9%
営業利益	5,805	4.0%	15,996	5.1%	4,800	2.9%	16,500	4.8%	▲1,005	▲17.3%	504	3.2%
経常利益	5,792	3.9%	15,719	5.0%	4,800	2.9%	16,000	4.6%	▲992	▲17.1%	281	1.8%
当期純利益	3,207	2.2%	7,659	2.4%	800	0.5%	5,500	1.6%	▲2,407	▲75.1%	▲2,159	▲28.2%

➤外部環境

当面は厳しい状況が見込まれるが、下期以降を中心に景気回復に伴うIT投資抑制の動きの改善なども期待。

➤売上高

ソランの業績が通期にわたり反映(前期は第4四半期のみ)されることなどから、前期比増加を見込む。

➤営業利益

当面は厳しい状況が見込まれることから、内製化やコスト削減を引き続き推進。前期比微増を見込む。

➤トピックス

資産除去債務に係る特別損失2,241百万円、営業費用(減価償却費)251百万円を見込む。

2011年3月期 見通し <TIS連結、インテック連結>

TIS連結 (百万円)	2010年3月期				2011年3月期(計画)				前期比			
	上期		通期		上期		通期		上期		通期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	44,472	100.0%	90,983	100.0%	44,000	100.0%	91,000	100.0%	▲472	▲1.1%	17	0.0%
アウトソーシング・ネットワーク	16,950	38.1%	34,093	37.5%	15,700	35.7%	32,700	35.9%	▲1,250	▲7.4%	▲1,393	▲4.1%
ソフトウェア開発	22,692	51.0%	47,027	51.7%	23,500	53.4%	47,600	52.3%	808	3.6%	573	1.2%
ソリューション	4,830	10.9%	9,861	10.8%	4,700	10.7%	10,400	11.4%	▲130	▲2.7%	539	5.5%
その他	—	—	—	—	100	0.2%	300	0.3%	100	—	300	—
営業利益	2,024	4.6%	5,028	5.5%	1,500	3.4%	5,100	5.6%	▲524	▲25.9%	72	1.4%
経常利益	2,262	5.1%	5,376	5.9%	1,510	3.4%	5,110	5.6%	▲752	▲33.2%	▲266	▲4.9%
当期純利益	1,368	3.1%	3,300	3.6%	400	0.9%	2,040	2.2%	▲968	▲70.8%	▲1,260	▲38.2%

※当期よりTISトータルサービスが連結範囲に入るため、「その他」売上高が計上されます。

インテック連結 (百万円)	2010年3月期				2011年3月期(計画)				前期比			
	上期		通期		上期		通期		上期		通期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	51,755	100.0%	109,480	100.0%	51,200	100.0%	109,600	100.0%	▲555	▲1.1%	120	0.1%
アウトソーシング・ネットワーク	19,705	38.1%	39,702	36.3%	19,800	38.7%	40,300	36.8%	95	0.5%	598	1.5%
ソフトウェア開発	25,956	50.2%	56,984	52.0%	25,300	49.4%	56,300	51.3%	▲656	▲2.5%	▲684	▲1.2%
ソリューション	3,949	7.6%	8,003	7.3%	3,800	7.4%	8,100	7.4%	▲149	▲3.8%	97	1.2%
その他	2,143	4.1%	4,789	4.4%	2,300	4.5%	4,900	4.5%	157	7.3%	111	2.3%
営業利益	2,286	4.4%	6,662	6.1%	2,100	4.1%	6,700	6.1%	▲186	▲8.1%	38	0.6%
経常利益	1,819	3.5%	5,884	5.4%	1,800	3.5%	6,000	5.5%	▲19	▲1.0%	116	2.0%
当期純利益	1,950	3.8%	3,616	3.3%	900	1.7%	3,100	2.8%	▲1,050	▲53.8%	▲516	▲14.3%

※「インテック連結」はインテック単体に現在の子会社12社を連結したものです。インテック単体の2010年3月期業績は本資料7ページをご参照下さい。

2011年3月期 見通し <ソラン連結、ユーフィット連結、アグレックス連結>



ソラン連結 (百万円)	2010年3月期				2011年3月期(計画)				前期比			
	上期		通期		上期		通期		上期		通期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	22,916	100.0%	46,985	100.0%	21,730	100.0%	46,900	100.0%	▲1,186	▲5.2%	▲85	▲0.2%
アウトソーシング・ネットワーク	4,757	20.8%	10,209	21.7%	4,690	21.6%	10,690	22.8%	▲67	▲1.4%	481	4.7%
ソフトウェア開発	16,748	73.1%	33,765	71.9%	15,600	71.8%	32,860	70.1%	▲1,148	▲6.9%	▲905	▲2.7%
ソリューション	1,177	5.1%	2,590	5.5%	1,190	5.5%	2,830	6.0%	13	1.1%	240	9.3%
その他	234	1.0%	421	0.9%	250	1.2%	520	1.1%	16	6.8%	99	23.5%
営業利益	606	2.6%	1,543	3.3%	▲70	▲0.3%	1,550	3.3%	▲676	▲111.6%	7	0.5%
経常利益	595	2.6%	1,378	2.9%	▲60	▲0.3%	1,610	3.4%	▲655	▲110.1%	232	16.8%
当期純利益	273	1.2%	603	1.3%	▲130	▲0.6%	800	1.7%	▲403	▲147.6%	197	32.7%

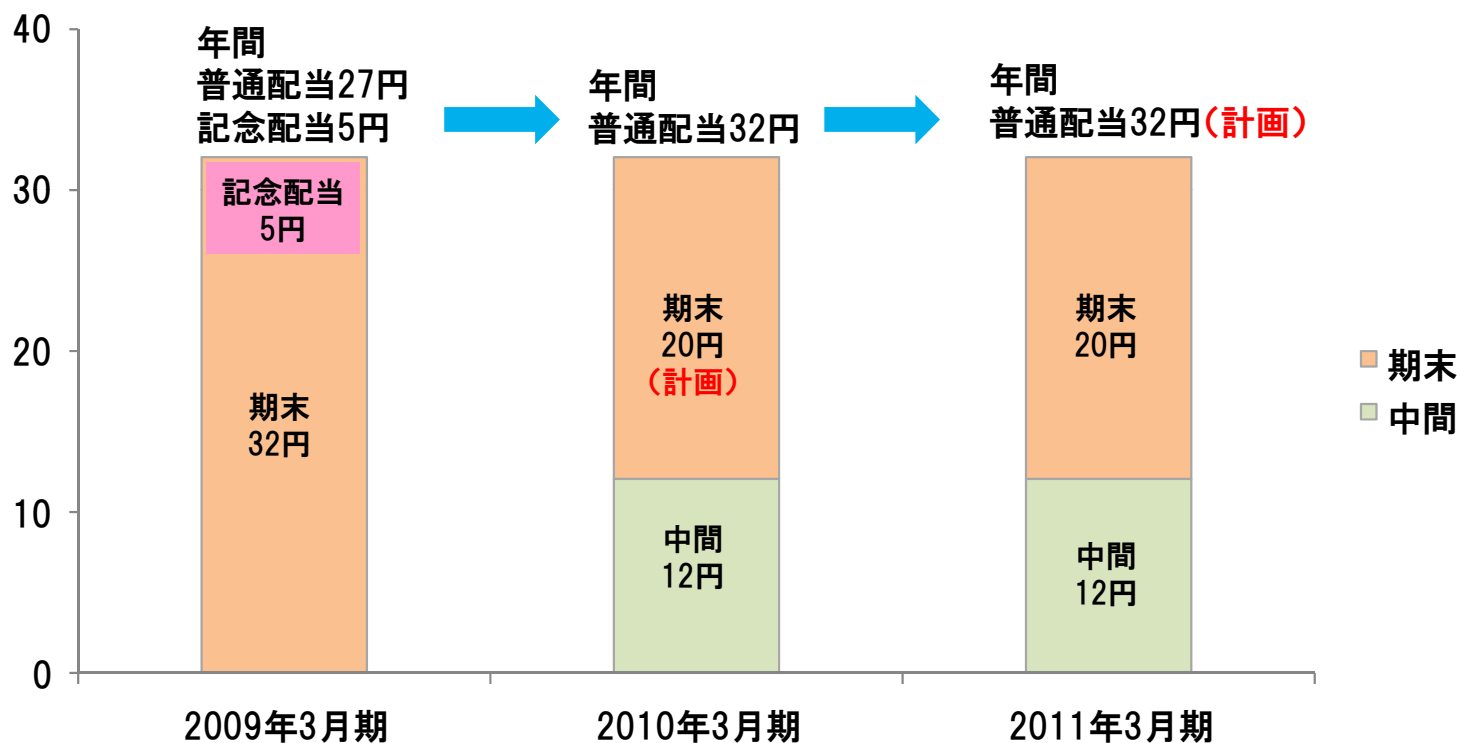
ユーフィット連結 (百万円)	2010年3月期		2011年3月期(計画)		前期比	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	21,953	42,706	20,000	39,000	▲1,953	▲3,706
営業利益	1,343	1,904	1,160	1,920	▲183	16
経常利益	1,380	1,977	1,190	1,980	▲190	3
当期純利益	743	2,027	10	560	▲733	▲1,467

アグレックス連結 (百万円)	2010年3月期		2011年3月期(計画)		前期比	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	12,950	26,590	13,400	28,300	450	1,710
営業利益	236	656	200	900	▲36	244
経常利益	227	645	200	900	▲27	255
当期純利益	33	91	▲120	220	▲153	129

1株当たり配当金について

<基本方針>

- ・株主の皆様への長期的かつ総合的な利益還元を重要な経営課題と認識。
- ・業績動向や財務状況、事業発展に備えるための内部留保の充実を勘案し、安定的な配当を継続するように努める。
- ・中間配当(9月末基準)と期末配当(3月末基準)の年2回の剰余金の配当を行う。



※2009年3月期は設立初年度で決算未経過であり、中間配当は行わず、期末配当のみ。

ITホールディングスグループのフォーメーション

2010年3月期 決算概要について

2011年3月期 業績見通しについて

中期的成長に向けた重点施策の進捗状況について

参考資料

			2008年度	2009年度	2010年度(計画)	2011年度以降	補足
事業拡大	既存事業	シナジー融合による拡大	中計準備期間 検討	展開 (3社)	拡大 (9社)		
		フラッグシップアカウント戦略					
		業界業種検討会	製造 → 金融 →				
		ソリューションフォーラム	内覧会 (35商材)	成果発表会	内覧会 (38商材)		
		(共同受注実績)	(29件/ 24億円)	(121件/ 54億円)			→P22に詳細
	次世代データセンター(DC)構築・拡大	心斎橋gDC		天津DC(4月) 高岡DC(8月)	GDC御殿山 パワー・アンド・IT	・DCのグループでの 共同利用、提携 ・サービス型ビジネスへの転換 →P23に詳細	
海外事業	アジアを中心に事業構築を拡大			ベトナム駐在員事務所開設	ソラン加入による中国(北京、天津地域)におけるドミナント戦略(天津地域連携)		
	顧客のグローバル化支援			BTとの業務提携	顧客の海外拠点のIT支援		→P24に詳細
新規事業	ソリューションビジネス			TIS,インテックのノウハウ、技術融合により、ソリューションを開発	・BTアライアンスによりクラウドテレフォニー事業の創出 ・環境ビジネス(Chemikarte)などサービスメニューに ・IFRS対応事業部門新設		ソリューション/ サービス型ビジネスの潮流を先取し強化
	ビジネスプラットフォームビジネス構築			リアルクラウドソリューション(IUK/ISI)	ビジネス・プラットフォームビジネス(クラウドビジネス)⇒SaaS,PaaS,IaaSの3層でサービス開始		→ P25、26に詳細

		2008年度	2009年度	2010年度(計画)	2011年度以降	補足	
経営の効率化	業務・資産・財務	経営の見える化	中計準備期間 グループ社長会、執行会議、情報交換会を整備	階層別管理方式を導入	第1次中期経営計画 CMS(Cash Management System)導入	グループ情報システム導入	→P27に詳細
		グループ本部系業務の集約		シェアード会社(ITサービスフォース)設立			
		(対象業務社/数)		(10社/35業務)	(15社/60業務)		
		共同購買によるコスト削減		グループ購買(間接材)実施	グループ購買の対象品目、対象社数の拡大		
		(削減効果)		(20百万円)	(60百万円)		
		資金の効率化			CMS の導入		
		(対象社数)			(4社)	(18社)	
人事・企業風土	福利厚生基盤整備		グループ健保準備	グループ健保設立		ソラン健保との統合検討	
	グループコミュニケーション基盤整備		グループSNSの導入	導入5ヶ月で登録ユーザー数約2,300名へと増加			

グループ事業連携(共同受注)の進展について

INT:インテック UFT:ユーフィット AG:アグレックス QLC:クオリカ

		サポート							
メイン	2008年度	TIS	INT	UFT	AG	QLC	AJS	その他	計
	TIS		6					1	7
	INT	7			2	3		3	15
	UFT		2						2
	AG								
	QLC		2					2	4
	AJS								
	その他					1			1
	計	7	10		2	4		6	29



		サポート								
メイン	2009年度	TIS	INT	ソラン	UFT	AG	QLC	AJS	その他	計
	TIS		7		10	4	3		15	39
	INT	8			8	15	2		20	53
	ソラン									
	UFT	3	5			1			4	13
	AG									
	QLC	1	1					1	5	8
	AJS						1		2	3
	その他	2	1	1					1	5
	計	14	14	1	18	20	6	1	47	121

【2008年度】(29件,24億円)

(特徴) 相互理解の促進

(施策) グループソリューション内覧会の開催

【2009年度】(121件,54億円)

(特徴) ・共同受注の組み合わせの拡大

・件数、金額が大幅に拡大

(施策) ・6社会議(クロスセールス、フラッグシップアカウント)

・共同セミナー、共同プロモーションの拡大

【2010年度】

(特徴) ソラン参画により、組み合わせが更に拡大

(施策) 7社会議、グループSNS「グループシナジーのたまご」開設

(重点ポイント) 業界、業種別検討会(拡大)、地域別連携会(検討)、フラッグシップアカウントの拡大

- ◆最新設備を完備した次世代型のデータセンターを中心に全国で保有している国内トップクラスのアウトソーシング拠点・BPO拠点から、多様なアウトソーシングサービスを提供
- ◆サービス提供においては、お客様の業務・用途に合わせた業務アプリケーションから、仮想化技術・クラウドコンピューティング技術を活用したプラットフォームサービス・リソース提供サービスなど幅広いラインナップ

その他



天津TIS
データセンター



QDC
(クオリカデータセンター)



インテック
富山本社



※建設中
インテック
高岡ビル

大阪



TIS
大阪センター



TIS
心斎橋gDC



インテック
大阪ビル

名古屋



ユーフィット
名古屋センター

国内最大規模のデータセンター
お客様の業務・用途に合わせたサービスの提供
高付加価値サービスの展開

国内外20拠点、100,000㎡のファシリティ

今後さらに拠点を増やし
アウトソーシング事業を拡大していきます

2010年4月現在

首都圏



インテック
横浜ビル



インテック
新宿ビル



ソラン
横浜センター



アット東京
中央センター



※建設中
TIS
御殿山gDC*



TIS
東京第1センター



TIS
東京第2センター

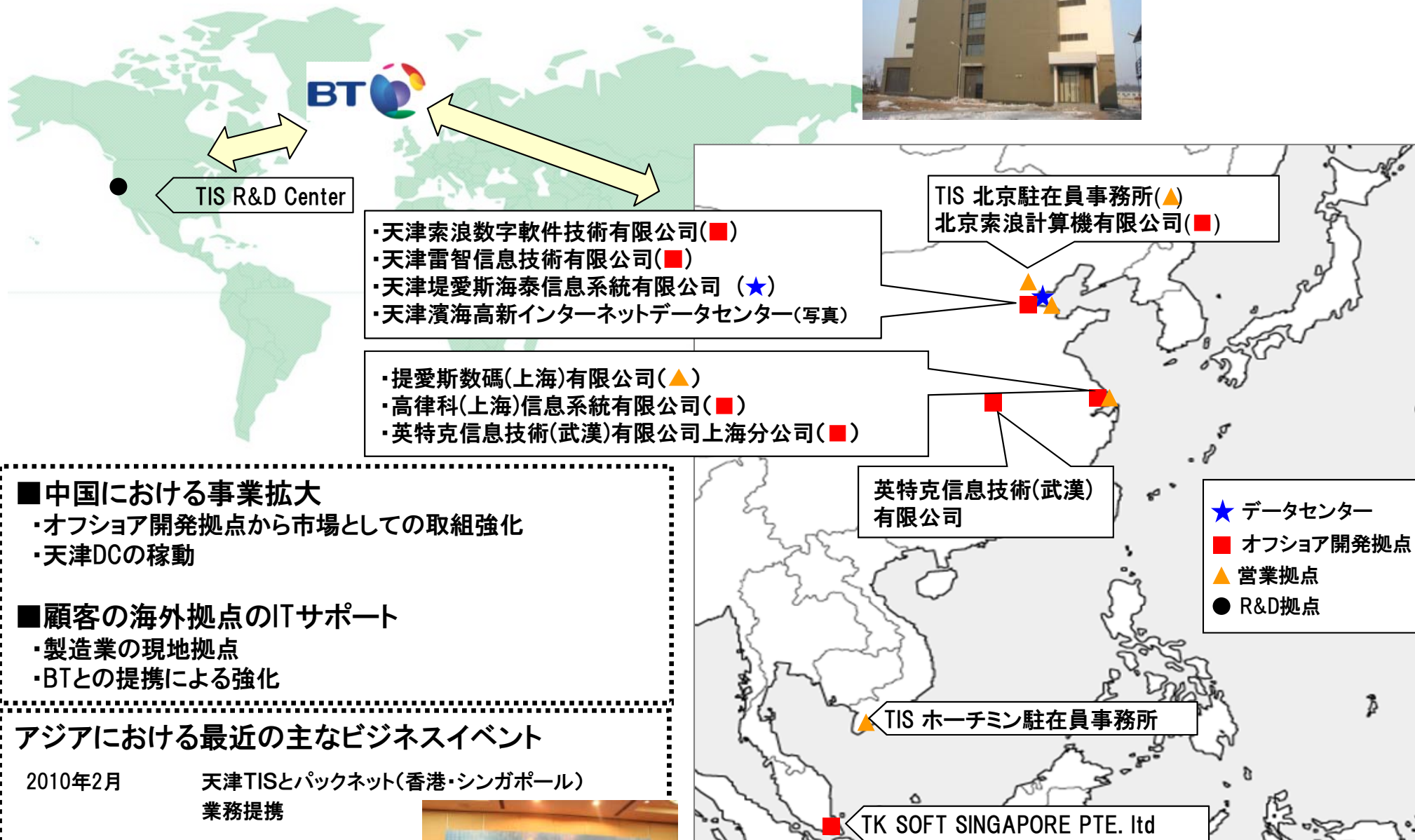


TIS
東京第3センター

*「GDC御殿山」に変更



ITHDグループ アジアを中心とした事業展開



■ 中国における事業拡大

- ・オフショア開発拠点から市場としての取組強化
- ・天津DCの稼働

■ 顧客の海外拠点のITサポート

- ・製造業の現地拠点
- ・BTとの提携による強化

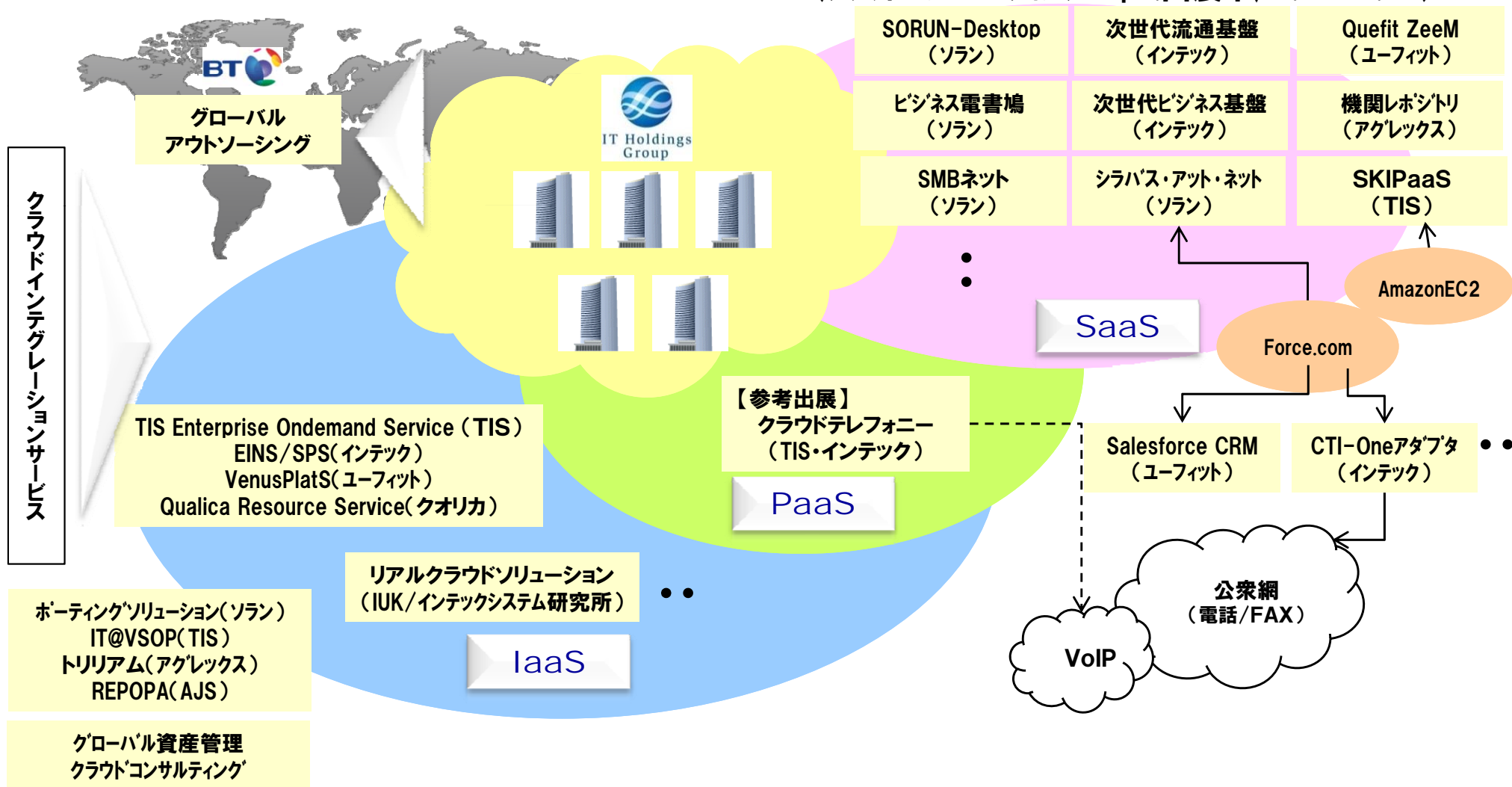
アジアにおける最近の主なビジネスイベント

- 2010年2月 天津TISとパックネット(香港・シンガポール)業務提携
- 2010年4月17日 天津滨海高新IDC開所



新規ソリューション、クラウドサービスへの取り組み

- ITHDグループのクラウドサービスは、SaaS/PaaS/IaaSの3つの層のビジネスプラットフォームとして展開
- クラウド環境へ移行するためのインテグレーションサービスおよびエンタープライズ環境で利用できるハイエンドサービスの提供
- 各社の特徴・これまで培ってきたノウハウを活かし、各レイヤーでITHDグループのクラウドラインナップを強化中
(クラウドコンピューティングExpo.出展中/5.12-5.14)



Slerならではの
オープンで豊富な
サービスラインナップ

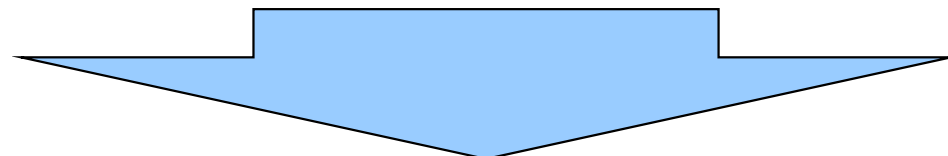
金融・製造・流通などの様々な業界での開発・アウトソーシング実績から、業界／業務特化型、共通サービス型など幅広い約30種類のオリジナルのクラウドサービスを、他社の優良サービスとあわせて展開

クラウドインテグレーション
=最適なシステム構成を提供

お客様の状況や事情をよく理解しているSlerならではのクラウド利用ノウハウ／技術を提供
IT資産を棚卸し、その状況や予算に対して最適なシステム構成をご提案

国内外のサービス拠点

大企業の地方拠点および地場企業でのクラウドシステム導入をサポートできる人材・拠点を全国に保有
2009年6月に提携発表したBT社とのアライアンスにより、BT社が保有しているワールドワイドのファシリティ・ネットワークを提供可能



他社にない独自性を持ちながら、お客様の多様なニーズにお応えする豊富なラインナップおよびインテグレーション能力を保持し、国内外でサポート

経営会議

- ・各社の業績状況を把握
- ・各社の経営状況、投資案件などを把握

グループ社長会

- ・グループ主要15社社長が参加
- ・3ヶ月に1回開催

グループ執行会議

- ・ITHD直下の主要11社が業績状況報告
- ・3ヶ月に1回開催

グループ情報交換会

- ・グループ主要各社の経営企画部門長による現業レベルの情報交換会
- 3ヶ月に1回開催

ITHD経営管理部と各社経営企画部門による日常的な情報交換・状況把握

グループ内情報システム基盤の整備
2011年度から本格導入

CMS(Cash Management System)の導入

経営基盤の強化

ITホールディングスグループのフォーメーション

2010年3月期 決算概要について

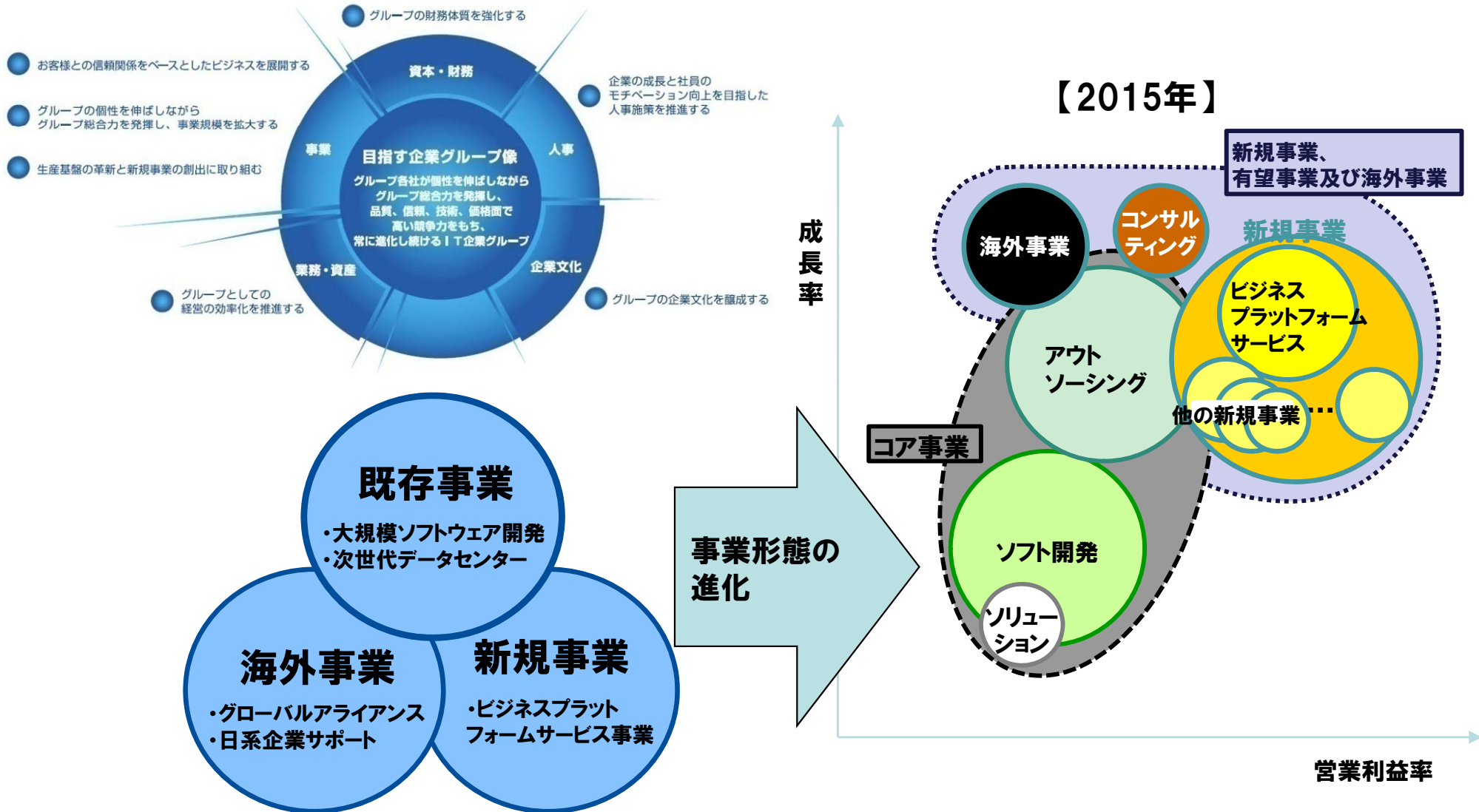
2011年3月期 業績見通しについて

中期的成長に向けた重点施策の進捗状況について

参考資料

ITホールディングスグループ 第1次中期経営計画

IT Evolution 2011





IT Holdings

(ご注意事項)

本資料における一切の記述内容は、ITHDグループ(ITHDおよびグループ会社)の現時点における入手可能な情報に基づき、一部主観的な前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果は様々な要素により大きく異なる可能性があります。なお、本資料ではITホールディングスを略称名(ITHD)にて記載しております。